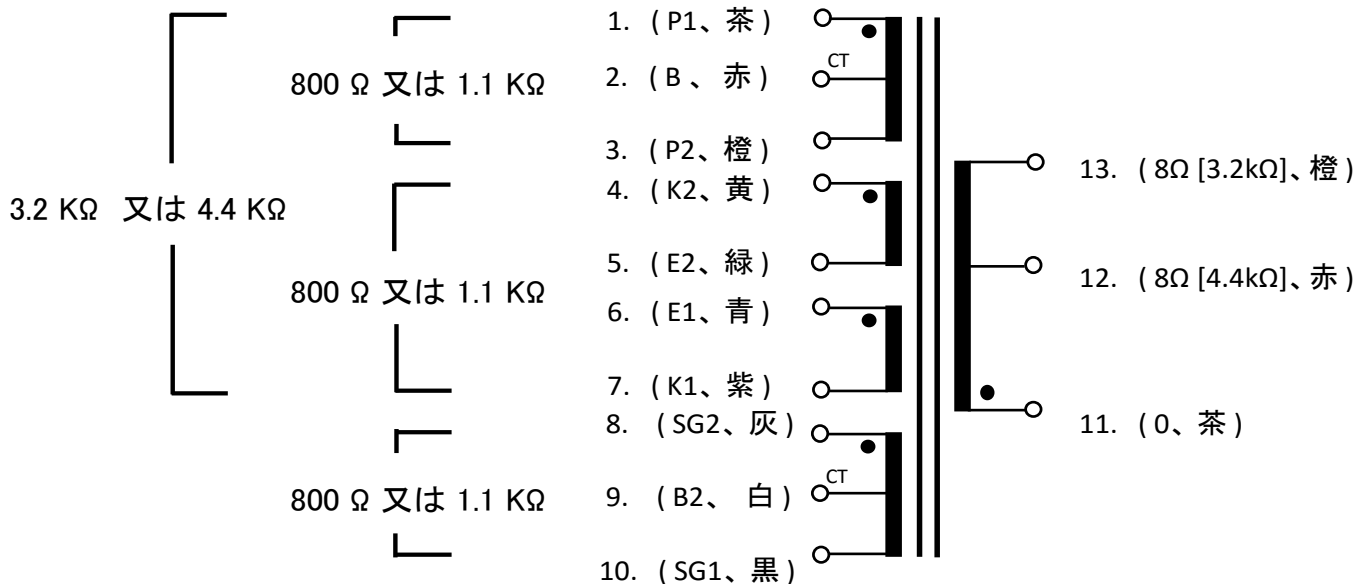


# ASTR-08 OPT 仕様明細

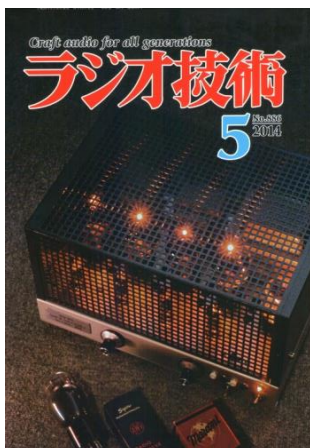
## 染谷電子オリジナル 一次側トリファイラ巻きOPT

ASTR-08は、マッキントッシュタイプのクロスシャントプッシュプルアンプ専用設計された管球用出力トランスです。一次側プレート側巻線とカソード側巻線、フィードバック巻線をトリファイラ巻きにしており、バイファイラ巻き姉妹製品の ASTR-12、ASTR-20、ASTR-30S 同様、素直な周波数、位相特性が大変ご好評頂いております。



一次側インピーダンス (二次側タップで選択)	3.2 KΩ 又は 4.4 KΩ
二次側インピーダンス	8 Ω
出力容量 (40 Hz)	35 W (4.4 KΩ) / 50 W (3.2 KΩ)
周波数特性	20~50KHz (7V入力、-2db、不平衡電流 0mA時)
一次許容 DC 電流	260mA (2本分)
最大許容電源電圧	500 Vdc (バイファイラ巻線間)
概略寸法・重量	100 mm x 90 mm x 120 mm (H) ・ 約 3970 g
外観仕上げ	黒色サテン塗装
単価	

詳細はラジオ技術 2014年 5月号 塩田春樹先生の  
KT-88 CSPP アンプの製作 をご参照頂ければ幸いです。



市販トリファイラ巻き出力トランス ASTR-08 を使った

ASTR-08 上面

### KT-88 CSPP アンプの製作

安価な水平偏向管に打ってつけの OPT

■ 塩田 春樹 ■



は最大 P 電圧より低いものが大半です。オーディオ用に使ってもすばらしいパフォーマンスを示す水平偏向出力管の Sg 電圧は P の半分とか4分の1しかないものが大多数であることは、すでにご案内のとおりだと思いますが、オーディオ専用管でも、たとえば最近本誌で紹介された新型管 KT150 では P が 850V、Sg が 650V ですし、古くから著名な KT88 は 800V と 600V、EL34 に至っては 800V と 425V で偏向出力管並みです。

オーディオ管にあつては、もちろん通常の動作条件としてこんな高電

